

「基本理念」

私たちは地域に密着した救急医療を目指すとともに、大学病院として質の高い医療と情報を提供し、地域の皆様に安心と信頼を持っていただけるよう努めています。その基本は「人間性に立脚した医療」、心の繋がりを大切に、患者さん本位の“あたたかい医療”を実践しています。

「基本方針」

1. 安全、安心な思いやりのある医療の実践
2. 大学病院として、高度先進医療の提供
3. 地域医療支援病院・地域がん診療病院として、情報発信とともに地域医療への貢献
4. 開かれた質の高い多職種協働によるチーム医療の実践
5. 患者の尊厳を尊重し、倫理観を備えた優しい心を持った医療人の育成

ちくし



検査外来(MR・CT・RI・骨密度測定)のご案内

地域の医療機関の先生方へ

検査外来とは、地域の医療機関の先生が当院の検査機器を共同でご利用いただけるシステムです。

検査当日は簡単な問診と検査のみを行うため、紹介患者さんの待ち時間も短縮できます。

ぜひ当院の検査外来を有効にご利用していただければと思います。

ご予約の際はお電話にてお申し込みください。

ご予約専用ダイヤル TEL 092-921-0911

検査希望日の概ね2~3日以内でご予約可能です。
(令和5年8月現在)

詳しくは

当院ホームページ(地域医療連携>診療のご案内>検査外来の受付)をご覧ください。

患者さんへ

検査外来のご利用はかかりつけ医からの紹介予約が必要となります。ご希望の方は、かかりつけの医療機関へご相談ください。

お問い合わせ先

福岡大学筑紫病院 地域医療支援センター TEL 092-921-1011(代)

診療日のご案内

	循環器内科	内分泌・糖尿病内科	呼吸器内科	消化器内科	小児科	外科	呼吸器・乳腺外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	脳神経内科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	こう科	放射線科
月	○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○					○ ○ ○ ○ ○					○ ○ ○ ○ ○		
火	○ ○ ○ ○ ○ ○											○ ○ ○ ○ ○					
水	○ ○ ○ ○ ○ ○							○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○					
木	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○											○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					
金	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○											○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					

【受付時間】

〈平日〉8:40~11:00

*1 小児科の専門外来は要予約 *2 休診中

【休診日】

土曜日・日曜日・祝日

年末・年始(12月29日~1月3日) お盆(8月15日)

【面会時間】

〈平日・土曜日〉13:00~20:00 〈日曜日・祝日〉11:00~20:00

*面会の状況については、当院ホームページをご確認ください。

交通のご案内



JR・西鉄電車ご利用の場合

西鉄大牟田線「朝倉街道駅」下車徒歩3分
JR鹿児島本線「天溝山駅」下車徒歩3分

自家用車ご利用の場合

九州自動車道「筑紫野IC」より車で5分
県道31号線「鳥栖筑紫野道路」武蔵交差点より車で5分

*時間帯により、交通混雑が予想されますので、ご利用時間は目安としてください。

*なるべくJR、西鉄電車などの公共交通機関をご利用ください。



地域医療支援病院・地域がん診療病院
福岡大学筑紫病院
Fukuoka University Chikushi Hospital

〒818-8502 福岡県筑紫野市俗明院一丁目1番1号
Tel. 092-921-1011(代) Fax. 092-928-3890
<http://www.chikushi.fukuoka-u.ac.jp>



福岡大学筑紫病院には開院後間もない昭和61年2月から5月まで研修医として、平成元年



救急・総合診療科 診療部長 松尾 邦浩

ご挨拶と自己紹介

令和5年4月1日から救急科は新たに福岡大学病院総合診療部の医師1名が着任し、救急・総合診療科に診療科名称が変更されました。現在、診療部長を務めております松尾邦浩と申します。私は平成25年5月、新病院の開院に伴って福岡大学病院救命救急センターから当院循環器内科に異動となりました。その後、当時の救急科診療部長の退職に伴い平成27年4月から救急科診療部長に就任しています。

4月から平成3年3月まで医員(現在の助手)としての勤務歴があり今回も3回目の勤務です。今回の異動から既に10年、診療部長就任から8年経過していますが、福岡大学筑紫病院ニュースには初めての登場ですので自己紹介を行います。福岡県中間市の出身で“ごきげんよう”で有名な明治学園中学校、東筑高校を経て、昭和60年に福岡大学医学部を卒業しました。卒業と同時に循環器内科医を目指し、荒川規矩男名誉教授が主催される福岡大学第2内科に入局し、不整脈学を主に研究していました。

平成8年10月から2年半、米国オハイオ州Case Western Reserve Universityに留学し、心房細動の研究を行いましたが、帰国後すぐに大学に戻れず、福岡徳洲会病院に循環器部長として着任しました。ここでは不整脈治療の傍ら虚血性心疾患に対する冠動脈形成術を学びました。平成13年4月に福岡大学医学部循環器内科に戻りましたが福岡徳洲会病院での経験を

生かし、不整脈のみならず冠動脈疾患の治療も担当していました。その後平成17年からは福岡大学病院救命救急センターに異動となり、昼夜を問わず急性冠症候群を中心とした循環器救急に明け暮れるとともに外傷を含めた3次救急の初療に従事していました。この経験から当院で救急医療を中心に担当する事で異動してきた次第です。

のは変わりありませんが、初期対応はこれらを含めてできる限り救急・総合診療科医師で担当しています。また初期研修医が1~2名常に勤務しており指導にもようやく余裕が出てきた状態です。救急搬送患者の担当は今まで通り各診療科にも担当していただいているが、崎原医師が可能な限り救急搬送患者の初療を行っており各診療科の担当医の負担は軽減していると思います。

今後も、断らない救急医療を目指して筑紫地区の救急医療に貢献できるよう各診療科の協力

のもと、全力で努力して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

専門

日本救急医学会専門医
日本集中治療学会専門医
日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医
日本循環器学会専門医
日本不整脈学会認定専門医
救急医療、虚血性心疾患、不整脈

救急・総合診療科の経緯と診療体制

救急・総合診療科は平成25年までの旧病院では救急部として救急医療を担当していましたが、新病院となり地域医療支援病院として救急医療にさらに注力する目的で前任の診療部長が専任医師として就任したのをきっかけに救急科に昇格しました。しかし現時点まで専任の医師は少数ですので各診療科の温かい協力のもと救急医療を担当しています。平成25年からの救急搬送数(図)はコロナ禍で入院制限が行われた令和2年度を除いて3500件程度で推移して

いますが、これは旧病院時代の2倍以上あり当院の地域における救急医療に対する責任はますます重要となっています。

当院は2次救急医療を担う病院として救急医療を行っていますが高齢化の進む地域ですので内科救急も増加し、今までの専任医師の1人体制では対応が困難となったこともあります。本年4月から新たに福岡大学病院総合診療部崎原永志医師が異動してきました。外傷などで専門医療が必要な場合は整形外科などに依頼している

▶ 救急・総合診療科スタッフ紹介



救急・総合診療科 助教
崎原 永志

令和5年4月1日から新たに福岡大学病院総合診療部より異動となりました崎原永志と申します。

私は沖縄県出身で昭和薬科大学付属中学校、高校を経て平成22年に福岡大学医学部を卒業いたしました。

福岡大学病院にて臨床研修修了し、平成24年に福岡大学病院総合診療部に入局しました。その後平成27年4月より医療法人社団江頭会さくら病院の医師として同年9月30日まで、また福岡大学筑紫病院小児科助手として同年10月1日から平成28年3月31日まで部外研修をさせていただきました。平成28年4月1日からは再び福岡大学病院総合診

療部にて、外来、病棟、ERと臨床の修練を積ませてもらいました。また日本病院総合診療医学会、日本プライマリケア連合学会の認定医、指導医をとさせていただき、日本専門医機構での総合診療専門研修の特任指導医として総合診療専門医の育成に携わっておりました。

ERでは主に2次救急の対応を行い、その経験を評価いただき、福岡大学筑紫病院の救急・総合診療科に着任させていただいた次第でございます。

これまでの経験を活かしながら、また引き続き修練を積みながら筑後地区の救急医療に貢献できますよう、力不足ではございますが各診療科の先生方、スタッフの方々の温かいご支援をいただきつつ努力して参りたいと思います。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

図 年度別救急車搬送件数



専門

日本内科学会認定内科医・指導医
日本病院総合診療医学会認定医・指導医
日本プライマリケア連合学会認定医・指導医
日本専門医機構 総合診療専門研修 特任指導医